



小牧市民病院 頭頸部外科医長医師

水野 照和

急性喉頭蓋炎



喉頭の構造

急性喉頭蓋炎という病名は一般の方にはあまりなじみのないものと思えます。「喉頭蓋に急性の炎症が起きたものです」と説明しても喉頭蓋がどのような物か分からないと、全くイメージできません。はじめに、呼吸・発声・嚥下に関する喉頭という重要な器官についてお話しします。



▲咽喉頭の構造

喉頭は空気と食物が一緒に通過する中咽頭の下にあり、それぞれを分けて食物は下咽頭、食道へ進み、空気は喉頭から気管、肺へと流れていくようにします。喉頭は上部にあり、へらの様な形をした構造物が喉頭蓋です。これは食物や水分が喉頭に入らないように守る蓋のような働きをします。むせなく食事を取るためには重要な構

造なのですが、これが腫れてしまふと、空気の通り道が狭くなってしまうのです。今回お話しするのは、この病気が時に数時間のうちに急速に進行し、窒息を来すことがあり非常に危険な場合があるからです。

急性喉頭蓋炎の原因と症状

原因は細菌（β溶血連鎖球菌や肺炎球菌など）が感染し発症する場合が多いようです。40歳以上の中年の男性に多いと報告されています。喫煙者は慢性の刺激により、この病気が発症しやすい素地が作られるようで、患者さんの多くは喫煙者であるといわれています。糖尿病がある方はこの病気になる場合、重篤になる傾向にありますので注意が必要です。症状は喉頭痛、特に嚥下時の痛み、つばも飲み込めないような強い痛みでも、もごもごとした含み声になることが多いです。悪化すると呼吸困難が出現します。

のどかぜであろうと考えて内科を受診しても口を開けて見える部分にはほとんど所見のないことも多く、普通の咽頭炎として治療されることもあります。しかし、耳鼻咽喉科で内視鏡を用いて喉頭を直接観察すれば一目瞭然です。内視鏡がなくてもこの病気を疑って

喉頭側面のレントゲン写真を撮影すれば喉頭蓋がボール状に腫脹した像が写り、診断できることもあります。薬を飲んでいてもよくなるはず、前述のような症状を呈してくるようなら耳鼻咽喉科クリニックを受診してください。喉頭蓋炎と診断された場合は喉頭の所見にもよりますが、入院治療の可能な耳鼻咽喉科医のいる病院に紹介されると思います。もしあなたがそういう状況に置かれてしまったなら、すぐに紹介先の病院を受診してください。「入院するかもしれないから、準備のために一旦家に帰ってから病院に行こう」「会社の仕事を片付けてから受診しよう」などは決して思わないで下さい。最初にお話ししたとおり、急激に進行し、病院に来る前に窒息してしまうこともあるのです。

急性喉頭蓋炎の治療

入院したら、抗菌薬や腫れを抑えるステロイドホルモンの投与を行います。このような保存的な治療でよくなることも多いのですが、中には腫脹が悪化し呼吸困難が強くなることもあります。その場合は窒息を来す前に気管切開術を施行して気道を確保したほうが安全であると考えます。

問合先 市民病院（☎76-4131）